姉妹都市積丹町に行ってきました

網走
釧路
札幌
積丹町

姉妹都市（積丹町）との友好交流関係の発展を図るため、８月22日～25日まで市内児童８名と引率者３名が積丹町を訪問しました。この交流は、今年で5回目になります。

子どもたちは、北海道の広大な自然に感動し、気候の違いや積丹町の人の優しさを感じることができました。特に、民泊体験は子どもたちの心に残ったようで、積丹町を出発するときには仲良くなった友だちとの別れを惜しんでいました。

今年は、以前、余別小学校と交流をしていた平山小学校卒業生のお子さんも参加しており、親子二代で積丹町との交流に参加していた人もいました。今後もこのようなつながりが続いてほしいと思います。

私は、出発当日まで積丹町に行くメンバーと仲良くなれるか心配でした。しかし、この旅行で一緒に活動したり遊んだりする中で、最終日には冗談を言えるくらい仲良くなりました。とても楽しかったです。民泊先のみやのちゃんともいろいろな話をして仲良くなれました。

高橋穂

私は、積丹町でたくさんの人にお世話になりました。民泊先の家族は、私が何を話していいのか困っていたら「高知のこと教えて？」など話しかけてくれました。案内をしてくれた阿部さんや加藤さんも積丹町のことを教えてくれたり、カバンにお茶がこぼれたときにかわかしてくれたりしました。たくさんお世話になったので、今度お礼の手紙を書きたいです。

門田侑乃

私は、北海道に行っていろいろなことを学びました。サクラマスサンクチュアリセンターでは、魚のことをいろいろ知れて勉強になりました。
３日目の民泊は、玲奈ちゃんと真子ちゃんといっしょに、凜ちゃんの家におじゃましました。晩ご飯を食べた後、みんなで人生ゲームをして遊びました。楽しかったです。
この３泊４日で友だちもできました。北海道に行って本当によかったです。

野口凰花

一番心に残ったのは民泊です。民泊した高野さん宅では、トウモロコシの皮むきをしたり、ビニールハウスにトマトを取りに行ってピザを作りました。みんなで花火をしたことも楽しかったです。また、絶対行きたいです。

西村元希

私が北海道に行って思ったのは、北海道の人はとても優しいということです。３日目、積丹町でせっかくできた友だちとお別れするのはとてもさびしかったです。
また、機会があれば家族みんなで行ってみたいと思いました。

山﨑玲奈

サクラマスサンクチュアリセンターでは、サクラマスの名前の由来や環境保護について話を聞きました。積丹町では、川全域で釣りをしてはいけなくて、河口のみ釣りを許可されていることを知りました。
積丹町は、自然を大切にしているところだと思いました。

別役はるか

まだ夏なのに、北海道は少し寒く感じました。道路を見ると、寒い地域、北海道ならではの工夫がありました。雪がふっても道路がどこまであるのかを示す矢印や雪が積もらないよう、信号がたてに作られていました。他にもたくさんの工夫があったので、みんなに教えてあげたいです。

池　真子

私が楽しかったのは、美国小学校との交流です。まず、学校にいってびっくりしたのは、校庭がとても大きかったことです。私の学校の校庭の２倍以上はあるように見えました。美国小学校の人たちに、積丹町の祭りや神威岬のことなどをクイズで教えてもらいました。一緒にゲームもして楽しかったです。今度は、家族と一緒に行きたいです。

尾原雛